

☆ きのこ観察会を行いました（10月19日） ☆

7回目となった「きのこ観察会」。9月の雨に期待したきのこですが、その後のお天気は乾燥しており、きのこらしいきのこがほとんど見られない山の状況。参加者も例年より少ない人数でしたが、講師にきのこアドバイザーの衛藤慎也先生を迎え、その分じっくりときのこについて学ぶことができました。

実際に里山を歩くと、アマタケやハツタケなどアカマツ林で例年見られるきのこは見られず残念。代わりに、カワラタケのような硬いきのこにも注目していくとそれなりに見られます。他にも、フユノハナワラビやヤマシロギク、コウヤボウキといった秋の里山の草花も楽しみました。後半には、見つけたきのこの分類・同定をしながらのきのこの学習。24種のきのこを確認することができました。

近年の気候変動の影響からか、きのこの不作の年が続いています。自然の中で重要な役割を果たしている「きのこ」に注目してきたこの観察会。きのこだけでなく秋の樹や草花の観察も取り入れながら、来年以降も続けていきたいと思えます。



ホコリタケ: 熟すと胞子がほこりのように出てきます



カワラタケ: 瓦のように硬いきのこです



フユノハナワラビ。秋の里山で草花も楽しみました



きのこ学習会。今回は少人数でじっくり取り組みました

【今回見つかった名前がついたキノコ】

ウスヒラタケ、スギヒラタケ、モリノカレバタケ、ワサビカレバタケ、ワサビタケ、コテングタケモドキ、タマシロオニタケ、イタチタケ、オウギタケ、チャツムタケ、ヌメリイグチ、ベニタケ属のなかま、フサヒメホウキタケ、ヒトクチタケ、カワラタケ、カイガラタケ、キカイガラタケ、ヒイロタケ、オシロイタケ、アオソメタケ、チャカイガラタケ、エゴノキタケ、ホコリタケ、シラタマタケ（以上24種）

過去6回の「きのこ観察会」で見つかった菌類リスト

2013年10月 せら夢公園

科名	属名	標準和名	食毒	2008年 10月12日	2009年 10月11日	2010年 10月10日	2011年 10月9日	2012年 10月13日	2013年 10月19日
1	ヒラタケ科	ヒラタケ属	ウスヒラタケ	食		○			○
2			ヒラタケ	食				○	
3	ヌメリガサ科	ヌメリガサ属	サクラシメジ	食	○	○	○		
4	キシメジ科	キシメジ属	オオキシメジ			○	○	○	
5			シロマツタケモドキ			○			
6			スギヒラタケ属			○		○	○
7			モリノカレバタケ属						○
8			ワサビカレバタケ	不食				○	○
9			ワサビタケ属	不食					○
10			クヌギタケ属					○	
11			サクラタケ			○			
12			サマツモドキ属				○		
13	テングタケ科	テングタケ属	テングタケ	毒		○			
14			カバイロツルタケ					○	
15			コテングタケモドキ	毒					○
16			ドクツルタケ	猛毒			○		
17			コタマコテングタケ	毒		○	○	○	
18			フクロツルタケ	毒			○	○	
19			タマシロオニタケ	猛毒	○			○	○
20	ハラタケ科	キツネノカラカサ属	オニタケのなかま	注			○		
21	ヒトヨタケ科	ナヨタケ属	イタチタケ						○
22	モエギタケ科	クリタケ属	ニガクリタケ	猛毒		○	○	○	
23	オウギタケ科	オウギタケ属	オウギタケ			○	○	○	○
24	フウセンタケ科	フウセンタケ属	クリフウセンタケ	食	○				
25			ムラサキフウセンタケ	食	○				
26			フウセンタケモドキ			○			
27			ムラサキアブラシメジモドキ	食	○	○	○	○	
28			キンチャフウセンタケ			○			
29			チャツムタケ属	不食		○	○	○	○
30			ショウゲンジ属	食	○				
31	イッポンシメジ科	イッポンシメジ属	クサウラベニタケ	毒	○	○	○	○	
32			ウラベニホテイシメジ	食	○		○		
33			コムラサキイッポンシメジ			○			
34	イグチ科	ヌメリイグチ属	ヌメリイグチ	皮に毒	○	○	○	○	○
35			アミタケ	食	○		○	○	
36			ウラグロニガイグチ	注	○	○	○		
37			アケボノアワタケ			○			
38	オニイグチ科	キクバナイグチ属	セイタカイグチ	食		○			
39	ベニタケ科	ベニタケ属	シロハツ	不食			○	○	
40			ドクベニタケ	毒		○	○	○	
41			アイバシロハツ	不食		○			
42			ベニタケ属のなかま						○
43			ハツタケ	食			○	○	
44	アンズタケ科	アンズタケ属	トキイロラッパタケ	食	○	○	○	○	
45			ミキイロウスタケ	不食			○		
46	フサヒメホウキタケ科	フサヒメホウキタケ属	フサヒメホウキタケ					○	○
47	ホウキタケ科	ホウキタケ属	ホウキタケ	食	○				
48			ウスムラサキホウキタケ	食			○		
49	カノシタ科	カノシタ属	カノシタ	食		○	○		
50	イボタケ科	クロカワ属	クロカワ	食	○				
51	タコウキン科	ヒトクチタケ属	ヒトクチタケ	不食					○
52			カワラタケ属	不食		○	○	○	○
53			カイガラタケ属					○	○
54			キカイガラタケ属						○
55			シュタケ属	不食			○		○
56			オシロイタケ属						○
57			アオゾメタケ						○
58	マンネンタケ科	マンネンタケ属	マンネンタケ	不食		○			
59			マゴジャクシ			○	○		
60	サルノコシカケ科	シハイタケ属	シハイタケ				○		
61			ミイロアマタケ			○			
62			チャカイガラタケ						○
63			エゴノキタケ						○
64	ホコリタケ科	ホコリタケ属	ホコリタケ	食	○	○	○	○	○
65	アカカゴタケ科	サンコタケ属	サンコタケ	不食				○	
66	プロトファルス科	シラタマタケ属	シラタマタケ	不食					○
67	バツカクキン科	冬虫夏草属	カメムシタケ	不食		○			
種数(種)				15	20	19	27	25	24
参加者数(人)				42	53	52	62	60	8

※ 講師の衛藤慎也氏による同定を、管理人が記録したものを基に作成した。

参考文献: 比婆科学教育振興会・広島きのこ同好会、『広島県のキノコ』、中国新聞社、1992年。